

当院 GICU で敗血症治療を受けられた患者さん及びその家族の方へ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	敗血症患者における白血球分画と予後予測に関する検討
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 羽生田 正行
担当科等	麻酔科
研究責任者	麻酔科 教授（特任） 藤田義人
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	敗血症患者の死亡率は未だ高く、先進国でも報告により 30-50%と高い値で、患者予後の予測は確立されているとは言えません。 一方、敗血症性ショックなどの患者さんの白血球分画で、好中球優位の状態からリンパ球優位の移行は全身状態の安定と関係があると言われております。今回我々は、この白血球分画の変化と予後の関係を後方視的に検討します。
対象となる患者さん	2014年5月から2018年12月までにGICUで敗血症治療した患者さん
研究の方法	該当症例につきカルテなどで、敗血症診断時の白血球分画とその後のバイタルサイン、循環薬剤使用、人工呼吸器使用、臨床経過などを検討します。研究計画および、研究の方法に関して説明を受けることができます。下記問い合わせ先まで申し出てください。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2018年12月31日
研究に用いる試料・情報	カルテ情報を収集し、治療中白血球分画と予後を検討する後方視的、観察研究です。 評価する項目は、患者背景として、男女、年齢、身長、体重、原因となった感染症、感染部位、患者状態評価としてAPACHEIIスコア、SOFAスコアなど。経過の項目として、28日抗菌薬フリーデイズ、28日人工呼吸器フリーデイズ、カテコラミンフリーデイズ、28日死亡率などです。
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。

場合	
その他	
問い合わせ先	愛知医科大学 医学部麻酔科学講座 担当者：教授（特任） 藤田義人 電話 0561-62-3311（内線 77837）